

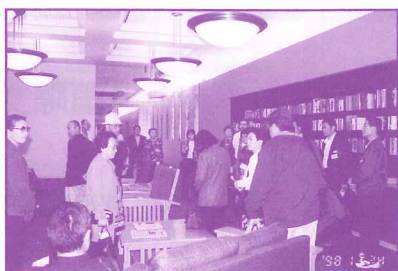
第23回姉妹都市訪問団

昨年11月22日に出発した姉妹都市訪問団が、11月30日、9日間の日程を終えて無事帰国しました。今回は、水戸市の姉妹都市アナハイム市のほかに、日本人には馴染み深いサンフランシスコ、ハワイを訪問しました。

姉妹都市アナハイム市への訪問も、今回で23回目。沢山の人が訪問団のメンバーとしてアナハイムを訪れたこととなります。今回の団員も、姉妹都市協会の方をはじめ、多くのアナハイム市民から温かいもてなしを受けました。



毎回、恒例となっている姉妹都市協会主催によるパーティーや歓迎レセプションなどでアナハイム市民と交流、またボランティアの方の案内でシビックセンターや新しくなったスタジアムなどを視察しました。これらの施設の規模の大きさも驚きでしたが、それ以上に運営のシステムが日本とは全く異なっていることに驚かされました。



毎年、訪問しているアナハイム市ですが、訪れるたびに新たな発見のある魅力的な街です。同時に、アナハイム市の人々の温かい心は変わることがありません。

水戸市とアナハイム市の交流はこれからも深まっていくことでしょう。

水戸市国際交流協会って どんなところ？

姉妹都市交流

前ページでも紹介したように、今年のアナハイム訪問団も無事帰国しました。姉妹都市アナハイムとの交流は、学生親善大使・短期留学生・来水団・訪問団の4つがメインになっています。協会が主催で行なっているこれらの事業の参加者の中には、その後個人旅行でアナハイムを訪れる人も少なくありません。子どもの訪問をきっかけに親が訪問団に参加したり、訪問団に参加した親の話を聞いた子どもが学生親善大使に応募するなど、家族ぐるみの交流も行なわれています。



「初将棋」に挑む留学生も、指導する生徒も真剣そのもの。

少年少女向け国際理解教室

(11月1日)

「国際交流」を柱の一つとした水戸第二中学校の文化祭「清流祭」が開催されました。当協会、水戸市生涯学習課及び水戸ユネスコ協会が留学生の参加要請などバックアップ、日本文化に関する部の部員を中心に積極的な交流が行なわれました。セレモニーでは留学生からの発表もあり、生徒たちは大いに刺激を受けました。



クリスマスパーティーで、盛り上がりも最高潮に。日本語教室の生徒の指導で踊り出す参加者たち。

国際交流パーティー

(10月3日、12月12日)

国際交流パーティーは、もっとも馴染みやすい国際交流のきっかけ作りとして毎年行われています。外国人に日本文化を紹介すると同時に、市民の皆さんにとっては在住外国人の母国の文化を知る機会でもあります。また、日頃交流の機会の少ない様々な国の人々との出会いの場でもあります。

水戸市国際交流協会では、在住外国人の支援と水戸市民の国際交流活動の支援を行なっています。しかし、支援と言っても、具体的にはどんな内容の活動をしているの？とお思いの方も多いことでしょう。そこで、今回は水戸市民の国際交流活動の支援事業について今年実施された事業を中心にご紹介します。

ハンゲル語講座

マンガ家高信太郎さんを講師に迎え、ハンゲル語の基本を学びつつ、ハンゲルという言葉の向こうにある韓国の文化や社会について考えていく講座です。韓国の家庭環境の話しながら韓国料理を実践する講座なども開かれ、和気あいあいと楽しく学びました。



サムゲタンは鳥肉の料理。中に具を詰め込んだひな鳥を丸一匹、豪快に煮込みます。

世界の料理講座

世界の料理を通じて、世界の文化や生活を学びます。今年は、これまでにフランスとベトナムの料理講座が行われました。どちらも一般の家庭で普通に食べられているものを紹介してもらいました。料理は様々な国や地域の風景を身近に感じさせてくれる、生活と文化そのものです。



フランス人の先生の指導のもと、料理に挑む参加者たち。思いがけず薄い生地扱いに四苦八苦。

国際交流のつどい

(11月7、8日)

国際交流のつどいでは、水戸市内を中心に活動する国際交流団体の協力を得て、写真パネル展が開催されました。市民へ向けての交流団体のアピールの場となり、市民の皆さんにとっては国際交流を理解する一助になったのではないかと思います。また、国際交流についての講演会や世界の茶文化についての講演も行なわれ、「世界」を実体験した2日間でした。



市内には幅広い分野で活動する市民団体がたくさんあります。その活動の多様さに、見学者も驚いていました。

これらは、すべて今年度実施されてきた事業です。国際交流協会では来年度以降も広く市民の皆さんの参加できる行事を増やしていきます。市民の力で国際交流の輪を広げていきましょう。

水戸市国際交流協会

インターネットホームページ開設

水戸市国際交流協会のホームページがまもなく開設されます。国際交流協会の事業案内や、水戸市国際交流センターのイベント情報など盛り沢山の内容です。皆さん、ぜひアクセスして下さい。

土曜サロン

毎月第1、第3土曜日に水戸市国際交流センター2階で開催しています。お茶を飲みながら、世界各国のみなさんとおしゃべりしてみませんか。外国からの皆さんには、3分間無料でご利用いただける国際電話「ふるさとでんわコーナー」などもございます。予約は必要ありません。当日直接会場へおいで下さい。

相談受付

相談者は外国人、日本人を問いません。

軽微なものから、滞在ビザなどの問題についても秘密厳守で応じています。直接来局、またはお電話でどうぞ。

生活ガイドブック・英文地図配布

『水戸の生活ガイドブック』、英文版水戸市地図『CITY MAP MITO』が発行されています。緊急時の対応や水戸市内の施設案内など、外国人の水戸での生活に役立つ情報が満載です。希望者には無料で差し上げています。

メモリアルプレート募集について

これまで国際交流センター開館記念メモリアルプレートには、多くの方々にご協賛いただきました。ありがとうございました。

まだ、余裕がございますので、メモリアルプレートの募集を引き続き行なっております。センター通路に敷き詰める石板と駐車場壁面に貼る陶板の2種類があります。国際交流にこだわらず、好きな言葉を入れて記念に残してみませんか。文字数など詳しいことは協会へお問合せ下さい。

水戸市国際交流センターの利用について

昨年4月のオープン以来、皆様にはたいへん好評にご利用いただいております。国際交流はもとより、一般の会議や料理教室、各種講座にもご利用いただけます。多目的ホール、研修室のほか調理室や和室もございます。

2階展示コーナーや情報コーナー、交流サロンについてはフリースペースとなっておりますので、ご自由にお入りいただけます。

まだご覧になったことのない皆様には、ぜひ、ご見学いただきたいと思っております。お近くにおいでの際にはお立ち寄り下さい。

ご利用について詳しいことをお知りになりたい方は、協会へお気軽にお問い合わせ下さい。

機関紙へのご意見を募集しています。
機関紙のコーナー、特集で取り上げて欲しい記事など、何でもお寄せ下さい。

〒310 水戸市備前町6-59
(財)水戸市国際交流協会
TEL 029-221-1800
FAX 029-221-5793
E-mail: mcia@mito.ne.jp

